

2019年3月7日

各 位

西武バス株式会社

当社バスが中扉を開けた状態で走行した事象についてのお詫びとお知らせ

この度、お客さまがご乗車された当社路線バスが中扉を開けた状態で走行した事象が発生いたしました。当該路線バスにご乗車されたお客さまをはじめ、関係の皆さまに多大なご迷惑、ご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

当社といたしましては、今般の事態を厳粛に受け止め、従業員一同、再発防止に向けて全力を挙げて取り組み、信頼回復に努めてまいります。

本件については関係当局へ報告をおこなっております。なお、本件に伴う事故やお客さまのお怪我はございません。詳細は下記のとおりです。

記

1. 発生日時

2019年3月5日（火）13時17分頃

2. 当該路線バス

ひばり73系統 ひばりヶ丘駅北口12時47分発 志木駅南口行 乗車人数16名

3. 発生場所

新座市役所バス停

4. 発生事象

上記日時に、当該路線バスが新座市役所バス停を発進する際、中扉が開いた状態で約3メートル走行いたしました。すぐに安全装置が作動したため、当該運転士が直ちに車両を停車させ、中扉を閉めた後に車両を発進させました。

その際、乗車中のお客さまからも扉が開いている旨、ご指摘を受けております。

5. 原因

運転士が、基本動作である発進時におけるドア閉め状況の確認を怠ったため。

6. 再発防止策

今般の事態を厳粛に受け止め、社内研修の見直しを図り、強化するとともに、発進時におけるドア閉め状況の確認等の基本動作を徹底し、再発防止に向けて全力で取り組んでまいります。

以 上